

**北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)(素案)に対する  
パブリックコメントの結果**

1 募集期間 令和7年11月12日(水)から12月12日(金)まで

2 意見提出状況

(1)意見提出者数

意見提出者 (団体・個人)	意見提出方法			
	電子申請	持参	電子メール	FAX
12	8	2	1	1

(2)提出意見数 47件

(3)意見内訳

内訳	件数
1. ビジョン全体にかかわるもの	7
2. ビジョン策定の背景、学びの現状(1~14 ページ)	7
3. ビジョンが目指す未来、変革点(15、16 ページ)	3
4. ビジョンのコンセプト(17~21 ページ)	4
5. ビジョンの基本方針(22 ページから 31 ページ)	15
6. その他	11
計	47

3 ビジョンへの反映状況

項目	件数
趣旨を考えて計画に記載されていると考えられるもの	23
意見を踏まえて計画に追加・修正をするもの	1
ビジョンに追加・修正はしないが引き続き検討するもの	7
その他(生涯学習全般に関わる意見など)	16

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)の修正箇所について

**修正1**

【市民意見(No.14)】

・VUCA の用語説明を。

【修正内容】

修正前	修正後
P4 将来の予測が困難な VUCA の時代の到来	P4 先行きが不透明で 将来の予測が困難な時代の到来

**修正2**

【第4回社会教育委員会議等意見】

・「生涯学習とは」のところで、学ぶことは楽しいことで、学ぶことで自分の人生が開けていくということを実感してもらえるような手だてがないか。

修正前	修正後
P2	P2 (追加) このように生涯学習には様々な「学び」や「活動」が含まれており、日々の生活そのものが生涯学習であると言えます。 私たちは、生涯学習が知識やスキルの習得にとどまらず、「学び」や「活動」を通じて、人とのつながりが生まれ、社会にかかわる機会を生み出し、自ら社会を作っていくという“営み”であると考えます。

**修正3**

【第4回社会教育委員会議等意見】

・「地域デビュー」という言葉がわかりづらい。具体的にはどの世代・どのようなことをイメージしているのか。地域デビューとすると壁を作るような気がする。もっと自然に溶け込むような社会になって欲しい。

【修正内容】

修正前	修正後
P30 地域デビュー	P28 「地域デビュー」という表記を削除

修正4

【第4回社会教育委員会議等意見】

・ビジョンとしては15年スパンではあるが、5年ごとに検証・見直しをすることをわかりやすく表記し、そのことをもう少し強調してはどうか。

【修正内容】

修正前	修正後
P4 ●2040年までのおおむね15年間(2026～2040年)を対象に、北九州市の未来へ向けた生涯学習行政の理念・方向性を示します。 ●理念・方向性を示した上で、本計画では15年間のうち最初の5年間の取り組みを中心に策定します。 ●ビジョンは2040年までの15年間を対象としながらも、おおむね5年おきに見直しを図ります。	P14 ● <u>対象期間は2026年～2040年までの15年間</u> です。 <u>5年ごとに検証・見直しを行います。</u> ● <u>北九州市の未来へ向けた生涯学習行政の理念・方向性を示した上で、対象期間のうち最初の5年間の取り組みを中心に策定します。</u>

修正5

【第4回社会教育委員会議等意見】

・家庭教育の取り組みが見えづらい。もっとしっかり記載していただきたい。

【修正内容】

修正前	修正後
P28	P28 (1) <具体的な取組へつなげる視点> <u>「家庭教育」追加</u> (2) <取組> ● <u>「地域のつながりを生かした家庭教育支援」追加</u> (3)【2026～2030年の重点的な取組】 <u>「□家庭教育支援の充実」追加</u>

修正6

【第4回社会教育委員会議等意見】

- ・(素案 25、30、31 ページ)「キーワード」とは、何を表しているのか。これが取組の基になっているのであれば、それと対応するものがあるのか。

修正7

【第4回社会教育委員会議等意見】

- ・多文化共生についてももう少し触れられてもよいのでは。外国人や留学生が多いのが北九州の特性の1つでもある。

【修正内容】

修正前	修正後
P25 <取組のキーワード> ICT の活用、リスキリング、リカレント教育、学び合い・教え合い、ウェルビーイング、多様性、情報発信	P25 <具体的な取組へつなげる視点> ICT の活用、リスキリング・リカレント教育の <u>推進</u> 、学び合い・教え合う <u>環境づくり</u> 、 <u>多様性の重視</u> 、 <u>多文化共生社会の実現</u> 、 <u>情報発信の充実</u>
P30 <取組のキーワード> 市民センター、こどもまんなか、多世代交流、ウェルビーイング、社会参加、実践、対話、地域デビュー、社会関係資本*	P28 <具体的な取組へつなげる視点> 市民センターの <u>活用</u> 、多世代交流の <u>促進</u> 、こどもまんなか <u>社会の実現</u> 、ウェルビーイングの <u>実現</u> 、 <u>社会参加・参画の促進</u> 、 <u>地域における実践・対話の促進</u> 、 <u>家庭教育支援</u> 、 <u>社会関係資本*の構築</u>
P31 <キーワード> 社会教育士、社会教育団体、ネットワーキング、支援組織、人材育成、多様な主体との連携、学校(コミュニティ・スクール)との連携	P31 <具体的な取組へつなげる視点> <u>社会教育人材・組織(社会教育士や社会教育団体等)のネットワーキング</u> 、 <u>人材育成</u> 、 <u>支援組織の育成</u> 、 <u>多様な主体との連携</u> 、 <u>学校(コミュニティ・スクール)との連携</u>

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)に対する  
市民意見の概要及び市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <p>1 ビジョンの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 ビジョンの今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 ビジョンの内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 ビジョンには直接関係しない意見</p>	<p>【意見の反映結果】</p> <p>①ビジョンに掲載済、または実施予定を含む ②追加・修正あり ③追加・修正なし ④その他</p>
---	---

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>《ビジョン全体に関わるもの》</p>				
1	<p>家庭教育学級については、2～3年前から講座としての取り組みになった事は、保護者や学校のさまざまな理由から、良く理解できます。PTA活動から地域活動へとつながっていく事が、今は難しい時代だと思えます。</p>	<p>引き続き、「家庭教育講座」など、家庭・地域・学校が連携・協力し、よりよい地域づくりに取り組んでいきます。</p>	1	④
2	<p>いつでも、どこでも学習できるような開かれた環境の整備が必要です。公民館や図書館、美術館、博物館、スポーツ施設など利用しやすい環境と地域と連携した策定を掲げてほしいです。また、地域と大学の交流や自由な大学施設の利用が希望です。多年齢が交流できる環境、例えば、子どもの学習格差是正のための無料塾や、子育て支援、などです。</p>	<p>いつでも、どこでも学習できる環境づくりに向けて、市民センター以外の施設とも連携し、情報発信の一元化等に取り組んでいきます。大学との連携についても、北九州市民カレッジやその他の事業でも取り組んでおり、今後も進めていきます。子育て支援については、関係部署との連携も含めて、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	2	④
3	<p>その人が誰と出会いどうつながっているか、その人が自分らしく生きることができているか、それを常に問いながら学び合いよりよいまちを自分たちの手で作っていきけるよう願います。</p>	<p>学びや活動を通じて、人と人がつながり、自分の暮らす地域に関心を持ち、かかわりを深めていくような機会を多く作っていきます。</p>	1	④
4	<p>北九州市民の幸福度が向上するような、前向きな計画が策定されるのを一市民として楽しみにしています。</p>	<p>「北九州市生涯学習ビジョン」に基づき、北九州市民の幸福度の向上につながるような取組を進めていきます。</p>	1	①
5	<p>子供から大人まで学ぶ所が必要。自宅以外で通える場所が良い。</p>	<p>市民センターを中心とした生涯学習事業を通じて、多様な人たちがお互いを理解し、つながるような取組を進めていきます。</p>	2	①
6	<p>多世代・多文化交流について学び、実践に繋がる学習を望みます。少子化で子ども達の姿は見えづらく、代わりに外国人(留学生・社会人)は多く見かける。市全体と身近な範囲での「見える化」で、仲良く交流する仕方など。</p>			

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)に対する  
市民意見の概要及び市の考え方

<p><b>【意見の内容】</b>          1 ビジョンの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見          2 ビジョンの今後の進め方等に対する考えを述べた意見          3 ビジョンの内容や表現に対して追加や修正を求める意見          4 ビジョンには直接関係しない意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b>          ①ビジョンに掲載済、または実施予定を含む          ②追加・修正あり          ③追加・修正なし          ④その他</p>
---	---

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
7	<p><b>【SDGsの視点が必要か、特に目標4及び目標10】</b></p> <p>目標4には「質の高い教育をみんなに」があります。「生涯学習の機会を促進する」ことも目標4には掲げられています。日本でも、大学などで学ぶ社会人や高齢者が増えています。</p> <p>寿命が延びるとともに、変化の速い時代を生きる私たちにとって、何歳になっても学び続けることが、豊かな人生を築く上で大切になってきていると思います。また、目標10には「人や国の不平等をなくそう」があります。年齢、性別、障がい、人種、民族、出自、宗教、経済的地位などによって差別されない、平等な社会を築くことが記されています。</p> <p>私たちが住む北九州市においても、多くの外国人労働者や留学生等が存在しています。少子化社会等の影響もあり、この外国労働者の助けがなければ、日本社会が成り立たなくなっているのが現状です。異文化理解や相互尊重の醸成が大切になっています。このような中で多文化共生社会の創出も生涯学習・社会教育の重要な柱となってきたと思います。地域みんなでGROW UPです。市民活動・NPO活動の支援などの記述も必要と思います。</p>	<p>人生100年時代を迎え、何歳になっても学び続けることができる環境づくりが重要です。加えて、多様な方たちが学ぶことができる環境づくりも重要です。</p> <p>市民センター等では、多様な立場の方への理解を深める学びや活動にも取り組んでいます。今後も多様な立場の方への学びの機会創出に向け、生涯学習に携わる人たちの研修等に取り組んでいきます。</p> <p>また、実際に多様な学びの場の創出には、専門性を持つ市民団体やNPOの協力も欠かせません。今後もNPO等との連携を進めていきます。</p> <p>市民活動やNPOの活動支援については、関係部署との連携も含めて、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	1	④

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)に対する  
市民意見の概要及び市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <p>1 ビジョンの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 ビジョンの今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 ビジョンの内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 ビジョンには直接関係しない意見</p>	<p>【意見の反映結果】</p> <p>①ビジョンに掲載済、または実施予定を含む ②追加・修正あり ③追加・修正なし ④その他</p>
---	---

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>《ビジョン策定の背景、学びの現状》</p>				
8	<p>11 ページの「学習に関するプログラムや費用の情報提供の充実」の、費用の情報提供の充実とはどういうことでしょうか。</p>	<p>講座等の内容や費用といった、学習に関する情報提供の充実という意味になります。</p>	4	④
9	<p>自己投資やリスクリングに対する社会的な関心が高まっている中、「きっかけがつかめない」「時間がない」といった理由で学びに踏み出せていない人が少なからずいる、という現状は私自身も大いに共感するところです。</p>	<p>「北九州市生涯学習ビジョン」においても、多様なニーズに対応した学習機会の提供に努めていきます。</p>	1	①
10	<p>5頁：将来の予測が困難な VUCA の時代において、2024 年までの 15 年間で対象とした理念・方向性を示すということに、大きな疑問を持ちました。5年おきにビジョンを見直すとのことですが、もう少し短いスパン(年度毎、2 年毎など)で見直したほうが良いかと思えます。</p>	<p>「北九州市生涯学習ビジョン」では、変化が激しい時代においても変わらない大きな方向性を示しています。その方向性のもと、具体的な取組は、毎年度検討していきます。</p>	3	③
11	<p>北九州市の自治会加入率が30年間で約40%も低下していることに驚きました(8 頁)が、自治会加入率の推移(8頁)以外に、北九州市のデータが記されていません。「令和7年度 第4回市政モニターアンケート“生涯学習に関する意識調査”」が行われ、その結果は市のホームページで公表されています。「生涯学習施策に関する市民のご意見やご要望をうかがい、(中略)今後の施策の参考とする」ためにアンケートが実施されています。そのアンケート結果を、生涯学習推進ビジョン内にも記し、市民の要望の応えられらるべきではないでしょうか。</p>	<p>毎年度実施しています市政モニターアンケート「生涯学習に関する意識調査」の結果については、「北九州市生涯学習ビジョン」においても参考としています。</p> <p>また、アンケート結果は「北九州市生涯学習ビジョン」の策定だけでなく、毎年度、具体的な取組を検討する際に参考とします。</p>	3	③

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)に対する  
市民意見の概要及び市の考え方

<p><b>【意見の内容】</b>          1 ビジョンの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見          2 ビジョンの今後の進め方等に対する考えを述べた意見          3 ビジョンの内容や表現に対して追加や修正を求める意見          4 ビジョンには直接関係しない意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b>          ①ビジョンに掲載済、または実施予定を含む          ②追加・修正あり          ③追加・修正なし          ④その他</p>
---	---

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
12	<p>9頁:「いつでも、どこでも、気軽に学びたい」というのは、私自身を含めて多くの人々が考えていると思います。それに応えるには、オンデマンド(オンライン)で学習できる講座を増やすことです。一方で、豊かな人生を送るために、「多様な人とのつながりが重要」でもあります。後者は、市民センターでの学習などを通じて新たな友人をつくることができます。オンデマンドでの個人学習の機会と、学習施設でのグループ学習の機会のバランスをいかにとるかは、難しい課題と思いました。</p>	<p>「いつでも、どこでも、気軽に学びたい」というニーズから、オンラインでの学習機会の提供にも力を入れていきます。一方で、地域のつながりづくりの観点からは、集合型による学習も重要です。それぞれの利点を考慮し、目的に応じて効果的な学習方法について検討を進めていきます。</p>	1	①
13	<p>11頁:国や自治体が力を入れるべきことの上位に、「オンライン学習の充実」と「公民館、学校施設の開放などの学習のための施設の増加」があります。前者は上述した通りです。後者に関してですが、市民センターの多くは日曜日が休館になっていますので、休館日の見直しをご検討願います。文部科学省が優良公民館を表彰していますが、優良公民館の大半は土曜、日曜は開館しています。</p>	<p>市民センターの日曜開館については、7館で既に実施しており、令和8年度は12館に拡大予定です。その他の館についても利用状況や地域のニーズを踏まえながら、協働で運営を行っているまちづくり協議会と連携し、検討を進めていきます。</p>	4	④
14	<p>5ページについて。          ①VUCAの用語説明を。②地域課題の例示を(どのような地域課題があるのか)</p>	<p>①「VUCAの時代」については、「先行きが不透明で予測困難な時代」という表現に変更します。          ②地域課題につきましては、全般的な課題として、「進行する社会課題」で記載しています。地域ごとに多様な課題があるため、一部のみの記載としています。</p>	3	②

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)に対する  
市民意見の概要及び市の考え方

<p><b>【意見の内容】</b>          1 ビジョンの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見          2 ビジョンの今後の進め方等に対する考えを述べた意見          3 ビジョンの内容や表現に対して追加や修正を求める意見          4 ビジョンには直接関係しない意見</p>	<p><b>【意見の反映結果】</b>          ①ビジョンに掲載済、または実施予定を含む          ②追加・修正あり          ③追加・修正なし          ④その他</p>
---	---

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>《ビジョンが目指す未来、変革点》</p>				
15	<p>生涯学習ビジョン(案)が掲げる方針の中でも、「”学び”と”活動”の機会の創出」という点に大変共感します。</p> <p>特に、人生100年時代、社会の変化や多様化が激しい現在にあって、「学び続ける」「つながりを持つ」「社会に関わる」という視点はとても重要だと思えます。</p>	<p>「北九州市生涯学習ビジョン」を策定し、本市の生涯学習の推進に努めてまいります。</p>	1	①
16	<p>「学び」と「活動」の関係についてです。市民カレッジ等の受講生は「学ぶ」段階で終わってしまい、地域活動への実践につながらない状況が見受けられます。したがって、講座の構成を見直し、学びの最終段階としてボランティア先での実習や地域活動への参加を組み込むなど、「学び」から「活動」までを一連の流れで完結できる仕組みを導入すべきです。少なくとも、試験的に複数の方式を試行しながら最適な形を探っていく姿勢がなければ、市の生涯学習の将来に明るい展望は開けないと危機感を抱いています。</p>	<p>「学び」を「活動」につなげ、「活動」を通じて新たな「学び」が生まれるといった循環を作っていくことが重要です。「北九州市生涯学習ビジョン」に基づき、北九州市民カレッジを含めた多様な機会を通じて、「学び」と「活動」の循環が生まれるような取組を進めます。</p>	2	③
17	<p>進行する社会課題は、01 低い幸福度、02 孤独・孤立化の進展及び03既存コミュニティの弱体化以外にも情報化、国際化などの社会課題として記載すべきではないか。</p> <p>01低い幸福度と「生涯学習」との関連性を明確に。⇒「生涯学習」において、どうしたら、幸福度がアップできるのかつながりがわからない。「生涯学習」における幸福度アップ度の比率は、大きさをデータで示すべきか。</p>	<p>数多くある社会課題の中から、「北九州市生涯学習ビジョン」では、生涯学習に関連が深いと考えるものを記載しています。</p> <p>また、人とのつながりが幸福度に大きな影響を及ぼすとされており、生涯学習を通じたつながりづくりは、幸福度の向上につながると考えます。</p>	3	③

「北九州市生涯学習ビジョン(北九州市生涯学習推進計画)」(素案)に対する  
市民意見の概要及び市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <p>1 ビジョンの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見                  2 ビジョンの今後の進め方等に対する考えを述べた意見                  3 ビジョンの内容や表現に対して追加や修正を求める意見                  4 ビジョンには直接関係しない意見</p>	<p>【意見の反映結果】</p> <p>①ビジョンに掲載済、または実施予定を含む                  ②追加・修正あり                  ③追加・修正なし                  ④その他</p>
--	--

NO	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
「ビジョンのコンセプト」				
18	「ウェルビーイング」という言葉を、誰でもわかりやすい、関心を持てるようなキャッチコピーを作ることが大事。「北九州市こどもまんなかスイッチ!」のような、キャッチコピーを公募したらどうでしょうか。	ご意見として承ります。	2	④
19	17頁に記されている「ビジョンのコンセプト」は素晴らしいと思いました。多様な価値観、多様な生き方により生じた全国的に共通の問題だと思えますが、人とかかわり・つながりが地域の活性化において不可欠と考えます。「学びと活動による関係づくりを通じた多様なコミュニティの醸成」、「私たちごと」化を通じた北九州市の未来を創る人材の育成」というコンセプトに賛同いたします。	「北九州市生涯学習ビジョン」に基づき、地域づくり・人づくりに取り組んでまいります。	1	①
20	本市の地域課題を解決していくためには、地域の中心となって活動を担うリーダーの育成が不可欠です。その観点から、素案 17 ページに示されている『「私たちごと」化を通じた北九州市の未来を創る人材の育成』を実現するためには、課題解決型学習の導入が重要であると考えます。 課題解決型学習とは、地域の課題を自分事として捉え、自ら課題を発見し、理想に近づくための解決策を主体的に探究する学習方法です。しかし、令和 5 年度から変更された「地域における女性リーダー育成セミナー」は、現状では受け身の学びにとどまり、「私たちごと」化に十分つながっていないため、学んだ成果が市の課題解決に生かされていないのではないかと危惧しています。	地域リーダーの育成には学びを通じた「私たちごと」化が不可欠だと考えます。その学びをどのように実現するかは、様々な手法があり、講座の目的に応じて選択しています。いただきましたご意見につきましては、今後の事業実施の参考にさせていただきます。	2	①